

■内覧会等への意見（追加分）

1	<p>防潮堤等も大事ですけどなによりもそこに住んでいる人々の意識が大切だと思います。どんなに立派な防波堤・防潮堤ができたとしても、それに甘んじて「逃げる」という行為をないがしろにしないことが一番だと思います。</p> <p>田老の町がそうであったように、津軽石・赤前がそうであったように、津波の怖さを忘れてはいけないと思います。</p> <p>私は、防潮堤も防波堤もない所に育ったせいか、先人の教えを忠実に守りました。「何があっても高台に逃げた以上、決して戻るな！」と。「2波、3波と押し寄せる津波をあなどってはいけない！」と。</p> <p>結果は、昔も今も変わらない。もどった方々は帰らぬ人となっています。策としては、まず高台に逃げる！みんなが生活できる避難所として鉄骨で丈夫な建物を数か所設ける。「ノアの箱船」ではないけど浮く家もいいかもしれませんね。(60歳代 女性)</p>
2	<p>震災によって壊れた側溝を直してください。震災で壊れた家を直す所ですが、側溝が壊れているので車が通りづらいです。(60歳代 男性)</p>